

信濃川

分館長になり一年を経過してみて

須田分館長 清水 義明

須田地区の皆様、この度令和6年4月1日より須田分館長を仰せつかった後須田第4区の清水義明と申します。
令和6年度は1月1日の能登半島地震、水害による被害があり、また各地には大雨による水害、地震、大雪による災害が発生しています。

毎日の生活の中では一人一人の防災に対する備えが必要となります。

分館事業においてはコロナ禍から日常の生活が戻りつつ例年通りの活動が出来るようになりました。

6月のシニア旅行では15名の参加で糸魚川方面に行ってきました。フォッサマグナミュージアムを見学して帰りの休憩ではマリンドリーム能生では大関の大の里が中高校時代を過ごした事からのぼり旗が掲げられていました。

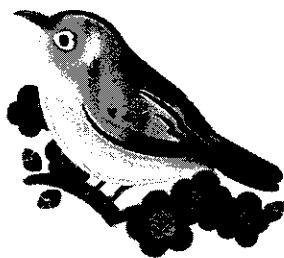
7月のグラウンドゴルフ大会はコロナ感染症や雨天中止の年もあり4年振りの開催となりました。晴天の中で小学生からシニアまで幅広い世代からの参加者で盛り上がりしました。

10月には須田小学校の体育館をお借りしてヨガ教室を開催しました。広い体育館の中で伸び伸びとヨガを体験する事ができました。

11月は須田中学校の体育館をお借りしてピンポン大会をソフトバレーボール大会の代わりに開催しました。

同じく11月は須田コミュニティセンターをお借りして応急手当講習会を開催しました。

年明けの2月は須田コミュニティセンターをお借りして輪投げ大会をして盛り上がりしました。



今の時代は人との関わりが昔と違って希薄になりつつあります。冒頭に書かせて頂きましたが災害時には「コミュニティ」が重要となります。

地域の皆様には分館活動を通じて「コミュニティ」の場を広げて頂ける事を願っています。

今後とも分館活動に対してご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

《令和7年度 須田分館事業計画》 ※実施日が変更される場合があります。

事業名	実施月日	会場
挨拶運動	毎月2回	須田小学校(第2月曜)・須田中学校(第3月曜)
シニア教室(日帰り研修)	6月13日(金)	山古志・蓬平方面
グラウンドゴルフ審判講習会	7月6日(日)	旧須田分館駐車場
グラウンドゴルフ大会	7月13日(日)	須田中学校グラウンド
長寿を祝う会(須田分館協賛)	9月14日(日)	須田コミュニティセンター
ヨガ教室	10月5日(日)	須田小学校体育館
応急手当講習会	11月7日(金)	須田コミュニティセンター
ピンポン大会	11月16日(日)	須田中学校体育館
婦人講座 手芸・生花・フラワーアレンジメント	随時	須田コミュニティセンター
パン作り体験	2月予定	須田コミュニティセンター
輪投げ審判講習会	2月14日(日)	須田コミュニティセンター
輪投げ大会	2月14日(日)	須田コミュニティセンター
須田分館だより	3月16日(月)	全戸配布
分館推進委員会議	4/24(木)・5/24(土) 9/6(土)・10/18(土) 3/7(土)	

シニア教室に参加して (日帰り研修)

後須田第4 清水 芳美

初めてシニア教室に参加しました。糸魚川フォッサマグナミュージアムに行き、日本列島の真ん中に「フォッサマグナ(大きな溝)」があり、大地の裂け目がある事を知りました。その溝が自然の力で埋め立てられ住んでいるわけです。新潟日報(8/3)には上越沖断層帯など5か所が示され、近くの海域で大地震を起こす可能性を示していました。自分の暮らす地域の可能性がある事を認識し備えなければならぬ事を学びました。能登半島地震は「能登半島北岸断層帯」があるのも原因の一つです。防災体制の整備が促されています。

昼食は糸魚川駅近くの「善処くろひめ」で美味しくとても好評でした。その後、マリンドリーム能生に寄りました。カニとビールを楽しんでいる方もおりました。食欲旺盛な方ばかりで、とてもお元気で旅行を楽しんでおりました。米山パーキングでは名物サバサンドをお土産にされた方もおりました。

今回の場所はどこかしらと楽しみになりました。ご準備して下さった役員の方々がありがとうございました。

グラウンドゴルフ大会に参加して

前須田 石崎 実

七月七日、母校である須田中学校で開催されたグラウンドゴルフ大会に参加しました。コロナの影響や天候の問題等で久しぶりの大会とのことでした。グラウンドゴルフは木のポールを木のクラブで打ち、ホールポスト(丸いスチール製のゲート?)に、なるべく少ない打数で入れるスポーツです。当日は、グラウンド全体にコースが設置され、きれいに整備されたコースもありましたが、轍があつたり、走り幅跳びの砂場があつたり、中庭の草(芝ではなく)のコースなどバリエーション豊かなコースが用意されており、大いに楽しむことができました。



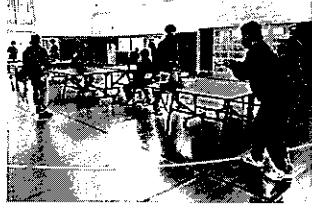
特に印象に残ったのは、小石が多く散らばっていたコースです。これにより、予期せぬハプニングが続出し、笑い声が絶えませんでした。小石のおかげでホールインワンした方もいらっしゃったようです。地域の方と一緒にプレイしながら、中学校の思い出話に花を咲かせることができましたのも良かったです。このようなイベントを通じて、地域や母校との絆を再確認し、

また新たな思い出を作ることができました。ありがとうございました。

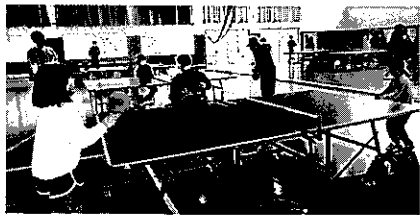
ピンポン大会に参加して

砂押新田 眞柄 友子

普段、運動しない私にとつて、果たして動けるのか?最初の練習では、玉がラケットに当たらず、参加を後悔。しかし、練習を続けていく内に、力加減がわかるようになり、何と二位という結果になりました。



小さなお子様から、パワーたつぷりの須田中卓球部、それに負けじと頑張る卓球部OBなど。女性の参加が少なかったですが、白熱した戦いと笑いありで楽しい時間を過ごさせて頂きました。皆様と一緒に汗をかいてみてはいかがでしょうか。



輪投げ大会に参加して

後須田第2 中澤 道子

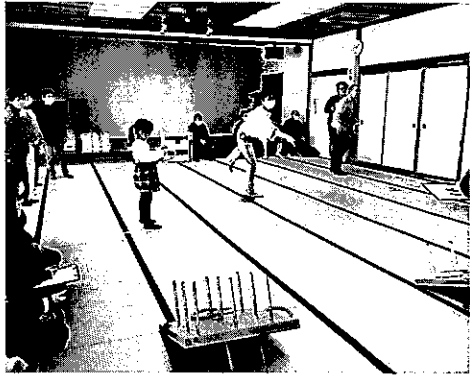
大会当日の朝、一緒に参加する娘は少し不安そうだった。そ

んな娘に私は言った。「勝たなくても輪を投げればいいだけだよ。みんな楽しんでやればいいんだよ。」すると娘は安心して笑顔になった。

会場に着き、大会が始まった。何回か輪を投げると、「案外得点できるかもしれない。」と感じた。その瞬間、風景の一部に過ぎなかった景品らしきものがくつきりと私の視界に入ってきた。

「勝たなくていい」「輪を投げるだけ」「みんな楽しんで」は、最早「なにかほしい」に変わっていた。そして私は優勝し、景品をいただくことができた。表彰状も嬉しかった。大人になってからというものの、表彰されるような機会は全く無かった。分館長から表彰状を手渡されると誇らしい気持ちになった。

娘もジュニア部門で準優勝となり、帰りの車の中で「よかったね。」と娘に言う。娘も「ママよかったね。」と言ひ、お互いの健闘を称え合った。冬の良い日曜日になった。



AED(自動体外式除細動器)を取り出して胸部圧迫指導
応急手当講習会(11月8日)



ヨガ教室ですっきりと(10月13日)

編集後記

次年度も多数の参加をお待ちしています。発行にあたり玉稿を寄せ頂いた各位、分館活動にご参加くださいました皆様に感謝申し上げます。

分館主事 小林 正幸